

厚生労働大臣の定める掲示事項

①当院は、厚生労働大臣の定める基準に基づいて診療を行っている保険医療機関です。

②入院基本料について

一般病棟（60床）

当院は、急性期一般入院料4の届出を行っており、入院患者様10人に対し1人以上の看護職員を配置しています。また、急性期看護補助体制加算の届出を行っており、入院患者様25人に対し1人以上、夜勤帯は100人に対し1人以上の看護補助者を配置しています。当該病棟では1日に16人以上の看護職員（看護師及び准看護師）が勤務しています。

時間帯ごとの配置については以下の通りです

【日勤】朝9時～夕方17時

看護職員 1人当たりの受持ち患者数は 6人以内

看護補助者 1人当たりの受持ち患者数は 10人以内

【夜勤】夕方17時～翌朝9時

看護職員 1人当たりの受持ち患者数は 17人以内

看護補助者 1人当たりの受持ち患者数は 100人以内

3階地域包括ケア病棟（40床）

当院は、地域包括ケア病棟入院料2の届出を行っており、入院患者様13人に対し1人以上の看護職員を配置しています。また、看護補助者配置加算の届出を行っており、入院患者様25人に対し1人以上の看護補助者を配置しています。当該病棟では1日に11人以上の看護職員（看護師及び准看護師）が勤務しています。

時間帯ごとの配置については以下の通りです

【日勤】朝9時～夕方17時

看護職員 1人当たりの受持ち患者数は 5人以内

看護補助者 1人当たりの受持ち患者数は 7人以内

【夜勤】夕方17時～翌朝9時

看護職員 1人当たりの受持ち患者数は 17人以内

3階療養病棟（40床）

当院は、療養病棟入院料1の届出を行っており、入院患者様20人に対し1人以上の看護職員を配置しています。当該病棟では1日に16人以上の看護要員（看護職員及び看護補助者）が勤務しています。

時間帯ごとの配置については以下の通りです

【日勤】朝9時～夕方17時

看護職員 1人当たりの受持ち患者数は 6人以内

看護補助者 1人当たりの受持ち患者数は 10人以内

【夜勤】夕方17時～翌朝9時

看護職員 1人当たりの受持ち患者数は 17人以内

看護補助者 1人当たりの受持ち患者数は 50人以内

③入院診療計画、院内感染防止対策、医療安全管理体制、褥瘡対策、栄養管理体制、意思決定支援及び身体的拘束最小化の基準について

当院では、入院の際に医師を初めとする関係職種が共同して、患者さんに関する診療計画を策定し、7日以内に文書によりお渡ししております。また、厚生労働省が定める院内感染防止対策、医療安全管理体制、褥瘡対策、栄養管理体制、意思決定支援及び身体的拘束最小化の基準を満たしております。

④明細書発行体制について

医療の透明化や患者さんへの情報提供を推進していく観点から、領収証の発行の際に、個別の診療報酬の算定項目の判る明細書を無料で発行しています。また、公費負担医療の受給者で医療費の自己負担の無い方についても、明細書を発行しております。明細書には、使用した医薬品の名称や行われた検査の名称が記載されるものですので、その点をご理解頂き、ご家族が代理で会計を行う場合のその代理の方への発行を含めて、明細書の発行を希望されない方は、会計窓口にてその旨お申し出下さい。

⑤食事療養・生活療養費について

当院では、「入院時食事療養（Ⅰ）」の届出を行っており、管理栄養士によって管理された食事を適時（夕食については午後6時以降）、適温で提供しています。

入院時食事療養費の標準負担額(1食について)

- ・一般所得者 550 円
- ・一般所得者(指定難病患者の方) 330 円
- ・住民税非課税の方:過去1年間の入院期間が90日以内の方 270 円
- ・住民税非課税の方:過去1年間の入院期間が90日超の方 220 円
- ・住民税非課税の方:70歳以上低所得者区分Ⅰ 130 円

当院では、「入院時生活療養費（Ⅰ）」の届出を行っており、療養上必要な基準を満たした体制で行っています。療養病床に入院する65歳以上の方は、入院時生活療養費として、食費と居住費について一部自己負担があります。

- ・居住費(1日) 370 円

⑥電子的診療情報連携体制整備加算について

- ①オンラインでのレセプト請求手続きを行っています。
- ②オンライン資格確認システムを導入しています。
- ③オンライン資格確認システム等電子的な資格確認を通じて得た診療情報を、診察室にて閲覧および活用できる体制を構築しています(但し、書面にての閲覧・活用となります)。
- ④マイナンバーカードの健康保険証利用の促進について、院内でのポスター掲示、患者さまへのお声かけを行っています。
- ⑤電子処方箋の発行、電子カルテ情報共有サービスの活用に関しましては、今後導入の予定をしております。
- ⑥当院では、医療DX推進体制の早期構築と、それにより取得する診療情報を十分に活用し、質の高い診療を提供できるよう取り組んでまいります。

⑦後発医薬品使用体制加算について

当院における後発医薬品(ジェネリック医薬品)の取り扱いにつきまして、下記の通り記載いたします。

①ジェネリック医薬品の推奨:

- ・ジェネリック医薬品とは、先に開発された薬(先発医薬品)の特許がきた後に、同じ有効成分・同じ効果で国が承認した医薬品です。
- ・開発費がかからない分先発医薬品と比べ低価格となり、医療費の低減に寄与するものです。
- ・当院はこのジェネリック医薬品を積極的に採用しております。

②医薬品供給が不安定な状況による対応:

- ・当院では医薬品の供給が不足した場合、製薬会社・規格などの変更を行い対応いたします。必要に応じた同効果の検討と治療計画の見直しを行い、適切に治療が継続できる体制を整えております(医薬品業務手順書・後発医薬品採用に関する基準に則する)。
- ・医薬品の供給状況によって患者さまへ処方・投与するお薬が変更となる場合がありますが、その際は患者さまへご説明させていただきます。

⑧長期処方・リフィル処方箋について

当院では患者さまの状況に応じ、28日以上長期の処方・リフィル処方箋の発行のいずれも対応が可能となっています。

※長期処方やリフィル処方箋の対応が可能かは、患者さまの病状に応じて担当医が判断することとなります。

※当院の準備状況により対応が遅れる場合がありますので、その際はご了承ください。

※処方箋を紛失された場合、再発行に係る診察料、処方箋料は患者さまのご負担となります。

⑨保険外併用療養費について

保険外併用療養費一覧表

品名	数量	金額
① 選定療養費(自己負担)	1日	2,190円
※平成14年4月1日の診療報酬改訂により、同じ病気で病院(診療所)に通算180日を越えて入院されている患者様は、これまでの一部負担金以外に入院医療費(入院基本点数)の一部を負担して頂くことが国の法律で定められました。		
② 腫瘍マーカー(AFP)	1回	1,230円
③ 腫瘍マーカー(CEA)	1回	1,210円
④ 運動器リハビリテーション料(I)	1単位	1,980円
⑤ 脳血管疾患等リハビリテーション料(II)	1単位	2,200円
※②~⑤については、制限回数を超えて受けた診療に対して適用されます。		

(注) 上記の金額は、すべて消費税を含みます。

⑩保険外負担について

当院では、各種証明書、診断書等及び保険外負担について、実費でのご負担をお願いしております。

保 険 外 実 費 一 覧 表

	品 名	数 量	金 額
◎	紙おむつセット	1日	580円
◎	寝間着・タオルセット	1日	500円
	腹帯	1枚	1,320円
	付き添いベッド一式	1泊	620円
	付き添い布団代	1泊	270円
※	自己血糖測定器	1個	9,350円
※	自己血糖測定用試験紙(30枚入り)	1箱	3,300円
※	自己血糖測定用針(30本入り)	1箱	660円
	ラックスーパーG100(30枚入)	1パック	2,510円
	バイオクローズA(20枚入)	1パック	3,350円
	肺炎球菌ワクチン	1回	11,000円
	带状疱疹ワクチン	1回	22,000円
	インフルエンザワクチン	1回	4,400円
	新型コロナワクチン	1回	15,500円
	MRワクチン	1回	8,140円
	レントゲンCD-Rコピー代	1枚	1,100円
	診察券(再発行手数料)	1枚	100円
	寝巻	1個	3,300円
	死体検案料		15,710円
	死体検案料(深夜)		20,950円
	死後処置料		15,710円
	診断書(病院書式)		3,300円
	入院証明書		5,500円
	身体障害者診断書・意見書		11,000円
	後遺障害診断書		11,000円
	その他簡単な証明書		1,100円
	交通事故診断書・明細書		8,800円
	死亡診断書		5,500円
	軟膏容器	1個	100円
	水薬容器	1個	100円

※自己注射をされておられる患者様は、指導料に含まれます。

◎：業者との契約になります。

(注) 上記の金額は、すべて消費税を含みます。

保 険 外 診 療 費 一 覧

ハイブリッドレーザー 手術	《 1箇所 》	385,000円
	《 2箇所 》	440,000円
	《 3箇所 》	495,000円
PLDD (レーザー椎間板減圧術)	《 1箇所 》	330,000円
	《 2箇所 》	385,000円
	《 3箇所 》	440,000円
PODD (オゾン椎間板減圧術)	《 1箇所 》	275,000円
	《 2箇所 》	330,000円
	《 3箇所 》	385,000円
高濃度ビタミンC療法	初診料	6,490円
	G6PD欠損症事前検査料	13,200円
	ビタミンC血中濃度測定料	4,180円
	ビタミンC(25g)	18,330円
	ビタミンC(50g)	23,420円
	ビタミンC(75g)	28,510円
	ビタミンC(100g)	33,610円
	ビタミンC(125g)	38,700円
プラセンタ療法	初診料	3,080円
	皮下コース(アミノ酸A2含む)	3,080円
	ツボコース(アミノ酸A2含む)	4,180円
マイクロアレイ血液検査	初診料	6,490円
	検査・判定診断料(診察料含む)	110,000円
高濃度水素水点滴療法	初診料	3,300円
	水素水点滴	5,500円

癌の遺伝子治療	初診料	6,490円
	P53vector	1回 100,000円
	PTENvector	1回 75,000円
	CDC6shRNA	1回 80,000円
	P16shRNA	1回 75,000円
	TRAILshRNA	1回 100,000円
オゾンつぼ注射療法 オゾン注腸療法	初診料	3,300円
	オゾン注射『皮下・筋肉内・関節内』(1部位につき)	2,750円
	オゾン注入『注腸療法』(1部位につき)	4,950円
グルタチオン療法	初診料	3,300円
	4A	3,300円
	6A	4,400円
	8A	5,500円
	10A	6,600円
AGA治療	初診料	3,300円
	治療代(内服薬30日分)	7,500円
心臓ドック	料金総額	25,000円
脳ドック	料金総額	18,700円
セカンドオピニオン外来	基本料金(30分間)	5,500円
	追加料金(30分毎)	3,300円
NMN点滴療法	初診料	3,000円
	1回 1バイアル	33,000円

※上記の診療費用は、健康保険が適用されないため全額自費診療となります。
なお、他の検査を同時にされますと、その検査も保険適用外となりますのでご了承ください。

⑪特別療養環境室料金について(1日につき)

患者様の希望により、特別療養環境室をご利用いただく場合には、別途既定の料金が必要となります。

金額他詳細は下記のとおりです。

○個室 10,180円

- 2階(一般病棟) 202・213・221病室
- 3階(地域包括) 308・310・311病室
- 3階(療養病棟) 323・326・327・328病室

○特室 15,270円

- 2階(一般病棟) 212病室
- 3階(地域包括) 312病室

⑫その他(診療録等の開示について)

当院ではインフォームド・コンセントの理念や個人情報の考え方を踏まえ、医療情報を積極的に提供することにより、医療従事者等と患者等とのより良い信頼関係を構築することを目的として診療記録の開示を実施しております。その際、プライバシーの保護及び診療上の支障が生じないこと等を確認したうえで診療記録を提供いたします。開示に伴う料金(税込)は下記のとおりです。

- ・カルテ開示基本料 3,140円
- ・診療録(カルテ)複写 30円/枚
- ・レントゲン用CD-ROM 1,100円/枚